

第 13 回埼玉県高齢者福祉研究大会

研究発表の評価基準

(1) 評価基準について

- ①【オリジナリティ】 ほかの人の研究の引用ではなく、発表者自身の独自の成果であるか？
- 5：発表者独自の発想に基づいて、全く新しい知識を作り出した。
 - 4：発想は、今までの研究に基づいて、全く新しい知識を作り出した。
 - 3：今まで知られている結果を独自のやり方で検証している。
 - 2：自分の考えに沿って複数の結果を組み合わせた。
 - 1：今までの知られている研究結果の単なる紹介に留まった。
- ②【プレゼンテーション】 根拠を持って論理的に導かれたものであることを聴衆に理解させる力があるか？
- 5：研究成果が、聴衆が理解しやすいように工夫がなされた。
 - 4：研究成果と、聴衆が理解しやすい工夫が足りなかった。
 - 3：結論を支持する根拠が十分に提示されていなかった。
 - 2：発表の内容の中で、結論と結びついていない部分があった。
 - 1：あまり手間がかかっているようには見えなかった。
- ③【研究の高度さ】 真剣に取り組んだ結果であると判断できるか？
- 5：長い期間をかけて取り組んだ結果である。
 - 4：高度な理論と、長時間にわたる綿密な調査のどちらかが要求される研究であった。
 - 3：高度な理論か、長時間の綿密な調査のどちらかが要求される研究であった。
 - 2：知識の範囲内ではあるが、かなり手間のかかる調査研究であった
 - 1：あまり手間がかかっているようには見えなかった。
- ④【考察の高さ】 研究の結果得られたものの意義を広い視野で検証しているかどうかの評価
- 5：自分の研究の現代社会における位置づけを明確にし、将来への発展性が示されていた。
 - 4：研究の成果が、明確に述べられていた。
 - 3：現在の計画の発展性が述べられていた。
 - 2：自分の研究が、どのような意味を持つか、説明しようとしていた。
 - 1：研究者の得た成果がどのような意味をもつかの理解が出来なかった。

(2) 採点について

各項目 5 点満点で評価し、合計 20 点満点で評価させていただきます。

(3) 評価者について

評価者の発表は、特設サイト内にて発表いたします。